

4 . 目的別歳出の状況

構成比が最も高いのは民生費 (23.9%) で、10年度に土木費を抜いて以来 7年連続 1位。
 平成 16年度は、公債費が土木費を抜いて 2位となった。
 前年度比に比べ、民生費、公債費等が増加し、土木費、農林水産費等が減少している。

民生費は、児童手当支給枠拡大による児童福祉費、介護保険や老人保険への繰出金が増加。
 土木費は、事業の重点化・見直しによる抑制効果により普通建設事業が大幅に減少。
 公債費は、一般単独事業債や、一般廃棄物事業債等の償還額が増加。

目的別歳出のおもな構成比は、下表の通りである。

< 目的別歳出の構成比順 > (単位：%)

費 目	構 成 比	
	平成 16年度	平成 15年度
民生費	23.9	21.7
公債費	16.5	15.0
土木費	14.1	17.6
総務費	12.9	12.9
教育費	12.7	13.3
衛生費	10.3	9.6

丸数字は構成比の順位

< 目的別歳出の内訳と増減 >

